

理想の働き方に近づくためのデジタル スキル | 受講生インタビュー

宇都宮市の女性のデジタルスキル習得・就労支援事業は、働くことを希望する女性が在宅でのテレワークなど柔軟な働き方で就労できるような、女性デジタル人材を育成し、就職・再就職・リスキリングの後押しをするとともに、経済的な自立につなげることを目的とする事業です。

今回は10名の受講生を輩出し、それぞれ学んだことを生かしながらキャリアを築いています。受講生が、どのようなきっかけで受講したのか、実際にとどのような働き方をしているのかをインタビューを行いました。（お話を聞いた方：井上さん）

ー本日はよろしくお願いいたします。この講座を知ったきっかけを教えてください。

元々カリグラフィーという書体のアート手法を学んでいたこともあり、webデザインにも興味がありましたが具体的に何から始めるべきか分からない状態でした。パソコンスキルに関しても今までは仕事の中でExcelに少し触れたことがある程度だったため、苦手意識がありました。また、技術を身につけるだけでなく就職支援もあると知り、理想だった隙間時間で働ける柔軟な働き方ができるのではないかと思います。受講を決めました。

ーパソコンやWi-Fiは家にあったのですか？

そうですね、パソコンとWi-Fiはすでにありました。ただ、パソコンは主に写真管理などの一部機能しか使っておらず、使いこなせていないと感じていて。

また、Wi-Fiも家庭内の通信には利用していましたが、作業などで今まで活用することはありませんでした。

ー講座の感想と印象に残っていることがありますか？

講師の方が心を込めて指導して下さったことが印象的でした。形式的な講義だと思っていたのですが、実際の経験を基にした話や教科書では得られない情報を提供して下さったことが、非常に有意義でした。リアルなこぼれ話をたくさんしていただき、時間さえあればもっと聞きたかったと思っています。

また、講義の始まりや途中にフリータイムや空いた時間を利用して他の受講生と交流する機会もありました。最後に受講生みんなでデジタル上で寄せ書きを作成して、講師の方にお渡しできてよかったです。

ー 最も印象に残っている講座はありますか？

ランディングページのデザインが難しかったので印象に残っています。デザインはどうか、どのような内容にするかを自分自身で考え、作成するという課題だったのですが、画像の選定が難しく良い素材を集めることができませんでした。

出来上がったものは結果的に60点程度の出来栄で、まだまだできたなと思っています。引き続き、勉強していきたいと思っています。

ー 全てのカリキュラムを終え、受講前後での井上さんの気持ちの変化はありますか？

デジタルに対する自信が少し付いたと感じています。以前はZOOMに入室することに対して苦手意識がありましたが、何度も繰り返すことで苦手意識がなくなりました。

また、講座はデジタル空間の中に教室があり、他の受講生と会話をしたり作業をしたりしました。そういったこともデジタルに対しての苦手意識が少なくなったきっかけかもしれません。

ー 実際に在宅ワークで現在、株式会社UZUZで働いていると伺っています。実際に働いてみた感想など教えてください。

そうですね、株式会社UZUZでは、教材資料の作成業務を担当させていただいていて、ラフをスライドに起こしていく作業を担当しています。社員の皆さんには直接お会いしたことがないのですが、チャットワーク上でのやり取りがスムーズで、レスポンスも早いです。わからないことがあれば、気軽に質問できる雰囲気がありますし、説明もわかりやすくしていただけるので、とても働きやすい環境です。

ー最後になりますが、今後の展望を教えてください。

まずは株式会社UZUZの業務に慣れ、今後いただける業務を増やしていければと思っています。もちろん、私の意思ではどうにもならない部分もありますが、可能であれば少しずつでも稼働時間を増やしていければ嬉しいです。

また、自分のカリグラフィーに関する活動をしながらもデジタルを活用して仕事の幅を広げていきたいと思っています。